

2011年日本平和大会実行委員会ニュースno.5

2011年日本平和大会実行委員会 東京都港区芝1-4-9 日本平和委員会気付
TEL 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277 E-mail: info@j-peace.org 10月13日

“非核・平和の太平洋を”

国際フォーラムに海外5カ国から13人以上

例年行っている「国際シンポジウム」は、今年は「国際フォーラム」(24～25日)として開催されます。このフォーラムは、グアム平和正義連合と平和大会実行委員会の共催。本大会前の国際企画が海外の平和団体と共催するのは初めてです。これは、グアム平和正義連合や非核フィリピン連合などがアジア太平洋規模の国際的な会議の開催を検討していて、その趣旨が今年の平和大会の国際企画のテーマとも重なっており、原水爆禁止世界大会の場など協議をすすめ、今回の形態となりました。

沖縄新基地建設計画と一体となって基地の大増強がねらわれているグアムからは、グアム平和正義連合のリサリダ・ナイティビダドさんはじめ、「私たちはグアム人」の代表など8人が決まっています。そのほか、アメリカの水爆実験による被害・迫害とたたかっているマーシャル諸島共和国からアバッカ・アンジャインさん、米軍が再び進出しようとしているフィリピンから非核フィリピン連合のコラソン・ファブロスさん、米太平洋軍の拠点ハワイからフレンズ奉仕委員会のカイル・カジヒロさん、ベラウ共和国からシータ・モレイさんが参加します。さらに韓国からの代表も招聘中。日本を加えて7つの国・地域の代表、総勢15人以上が参加するこれまでにない規模の国際企画となります。

各地で意欲的に参加組織すすむ

秋田 目標突破、団体訪問も積極的に

秋田県実行委員会は、参加目標10人を突破して14人となっています。これは、1995年の沖縄での少女暴行事件の直後に開催され、本土からは最高の1500人余が参加した沖縄大会と同じ数です。秋田県実行委員会は、実行委員会役員が9月14日から3日間で29団体を訪問するなど、積極的に大会の意義や魅力を伝え、チラシ、ポスター、パンフを普及してきました。秋田市内では、参加者を中心にパンフを使った学習会もすすめられています。

福岡 青年への参加のよびかけすすむ

福岡県実行委員会では、青年の参加の取り組みがすすんでいます。

県労連青年部は、07年の岩国大会に18人、昨年の佐世保大会は8人参加。今年の沖縄大会にも5人は参加させたいと取り組んでいます。例年パンフレットを500冊規模で活用している福岡市職労も青年を5～7人参加させたいといっています。福岡県は30人以上(目標50人)のメドが立ちました。

長崎 佐世保から5人など目標突破

昨年大会を開催した長崎県は、6日に千坂純日本平和委員会事務局長を招いた学習会も設けて今年の実行委員会の結成を総会を開催しました。10月にはいつからのスタートでしたが、今年の沖縄大会のことはすでに一定程度知られており、佐世保から5人(平和委3人、新婦人2人)、長商連4人、民医連2人、新婦人も他に2人、平和委も他に6人など、目標20人をたちまち突破しました。

.....
12日の第6回実行委員会で、「成功のよびかけ」を発表しました。*別紙参照